



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年10月5日（水）



本校では環境教育の一環として、4年生を対象に下水道教室を行っています。今日は、埼玉県下水道公社職員の皆様をゲストティーチャーにお招きして授業を実施しました。下水道の仕組みや下水道の役割、下水道の正しい使い方などを学びます。その中で子供たちが夢中になるのは、活性汚泥の中にいる微生物を顕微鏡で観察することです。活性汚泥とは、下水処理場のタンクの中で水を浄化するために働いてくれる微生物を豊富に含んだ浮遊性有機汚泥の総称です。イタチ虫やクマムシなどたくさんの微生物が水をきれいしてくれます。子供たちは、顕微鏡をのぞいては、「あ、いた！」「動いている！」と声を上げていました。下水道公社から一人一台の顕微鏡をお借りできたので、子供たちもゆっくり観察できました。また、ふじみ野市役所下水道課からも職員の皆様が子供たちのサポートに来てくださいました。ありがとうございました。



3年生は、総合的な学習の時間（西小タイム）で、外国の文化や食生活について調べています。今日は図書室にタブレット PC を持ち込んで、ネット検索をしながら自分の課題に取り組んでいました。興味のある国を決めて調べるのですが、最近ニュースに取り上げられることの多い国について調べている子が多かったです。ローマ字入力ができない子は、キーボードでかな入力をしています。調べたことはワークシートにまとめていました。みんな、集中して黙々と取り組むことができていました。



5年生家庭科のエプロンづくりもいよいよ大詰めです。ミシンサポーターとしてご協力いただいた保護者の皆様のおかげで、子供たちのミシン操作もだんだん上達してきています。本当にありがとうございました。まだ、操作に自信のない子もいますが、周りの子たちがサポートするなど、みんな協力しながら制作を進めてきました。もうすでに完成している子もいます。エプロンを着けて嬉しそうです。

以前は、自分で作ったエプロンを着けて調理実習を行っていたのですが、コロナ以降、学校で調理実習を行うことができない状況が続いています。ご家庭でのお手伝いなどで、このエプロンが活躍できる機会を作っていたらと幸いです。

